

2010年5月18日

# 安房普及だより

〒294-0045 千葉県館山市北条402-1 TEL:0470-22-8132 FAX:0470-22-0097  
ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/apcenter/awa/>  
発行:安房農林振興センター地域振興部改良普及課・安房農林業振興協議会普及事業部会

## 広がるスナップエンドウ栽培

最近、暖房費の高騰や農産物価格の低迷から、低温でも栽培可能で、需要が伸びているスナップエンドウの施設栽培が安房地域で増えています。

栽培は平成19年よりスタートし、現在は生産者15名で、「安房スナップエンドウ組合」を結成して、市場や直売所出荷を行っています(写真1)。



写真1 ほ場のスナップエンドウ

①特徴  
分類は「さやえんどう」になります。中の種子を肥大させて莢ごと利用する野菜で、独特の食感と甘み特徴です。2分程度茹でるだけで食べ

られる手軽さが売りですが、天ぷらや肉巻き、野菜炒めなど、和・洋・中と幅広く利用が可能です。

②栽培条件  
安房地域では次のように行われています。

- ・施設栽培(パイプハウスから鉄骨ハウスまで様々)
- ・栽培期間は9月～翌年4月
- ・分枝の少ない極早生品種を利用
- ・生育適温は4℃以上で、0℃以下になる場所では暖房等の対策が必要

③栽培ポイント  
は種期は9月上旬～11月上旬で、収穫はおおよそ3ヵ月後から始まります。収量は2t/10a程度ですが、ピークは3月中旬からの1ヵ月になります。問題となる病害虫は「うどんこ病」「灰色かび病」「ハモグリバエ類」「ヨトウムシ類」です。

④おわりに  
本組合では、収穫の際に布手袋とハサミを使用し、1莢ずつ出荷ケースに並べるなどして、高級百貨店等でも評価を得る商品作りを行っています(写真2)。

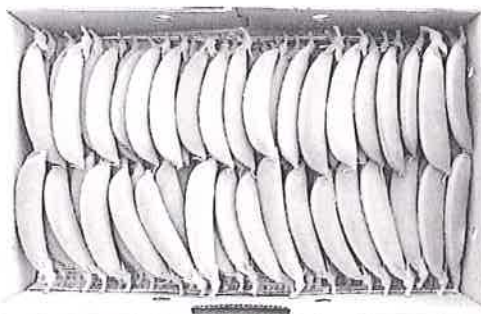


写真2 出荷姿のスナップエンドウ

市場からさらなる生産の拡大も望まれていることから、安房地域全体で栽培を呼びかけています。

(金森啓介)

## 稲こうじ病にご注意を!

平成19年度から「稲こうじ病」に対する農産物の検査内容が厳しくなり、黒い塊(厚膜胞子)等が混入した場合、精米時での着色が懸念されることから、「規格外」としての取扱いに変更となっております。常発地では、あらかじめ防除対策を講じ、未然に発生及び混入を防ぐ必要があります。

### ○稲こうじ病の発生要因

#### 《常発地での発生要因》

第一次伝染源は、前年にほ場に落下した厚膜胞子や菌核(菌糸のかたまり)が越冬するため、毎年発生します。

#### 《発生しやすい条件》

7、8月頃に雨が多いと発生が多くなります。また、窒素肥料が遅効きするときに発生が多くなります。

### ○稲こうじ病防除薬剤

いずれの薬剤も「予防効果」

### 稲こうじ病の主な防除薬剤 (平成22年4月1日現在)

薬剤名	使用量	使用時期	使用回数
ラブサイドベフラン粉剤DL	3~4kg/10a	穂ばらみ期~穂揃期 (但し、収穫14日前まで)	3回以内
モンガリット粒剤	3~4kg/10a	収穫45日前まで	2回以内
Zボルドー粉剤DL	3~4kg/10a	出穂10日前まで	-

※銅剤(Zボルドー粉剤DL)は効果は高いが薬害が出やすいので注意する。

しかありません。感染するのは出穂10日前頃なので、いずれの薬剤も穂ばらみ期までに散布が必要です。出穂後、籾に硬膜胞子がみられてからでは防除手段はありません。

(浅野清一郎)

## シントウの病害対策

昨年6月頃、ハウス栽培ではうどんこ病が、露地栽培では斑点細菌病が多発しました。そこで、これらの病気の対策方法を紹介します。

### ①うどんこ病

葉の裏側に霜状の白いかびを生じ、表側は黄化します。

#### 《発生しやすい時期と条件》

25℃前後の乾燥条件で発生しやすく、6月頃や樹勢が落ちる9月頃に発生が多く見られます。

#### 《対策方法》

葉の組織内部に菌が入り込むため、発生すると薬剤の効果を得られにくい病気です。ハウス内の換気に努め、追肥・かん水不足にも注意します。発生が見られた場合は、すぐにトリフミン水和剤、ラリール水和剤などの薬剤散布を行い、多発時は5~7日間隔でローテーション散布を行います。

### ②斑点細菌病

葉に斑点ができ黄化・落葉が見られます。

#### 《発生しやすい時期と条件》

露地で発生することが多く、6~7月の梅雨後半から秋雨明けにかけてと、9月の秋雨の頃に症状が進展します。晴天が続いた後、降雨が連続すると発生が多くなります。

#### 《対策方法》

多発すると防除が困難となりますので、Zボルドーなどの薬剤を使用し、予防散布を心がけます。また、土壌から雨水の跳ね返りなどで伝染するため、マルチや敷きわらなどで雨水の跳ね返りを防ぎます。早期防除を実践し、安定生産を目指しましょう。

(安田直登)

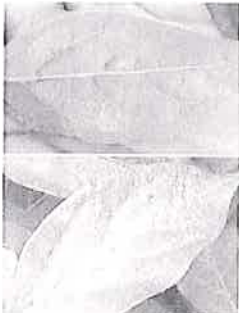


写真 上 うどんこ病葉裏  
下 斑点細菌病葉表

カーネーション経営の  
由来と歴史

現在、輸入カーネーションの割合は市場外流通も含め約40%と年々増加しています。その影響で、国産カーネーションを高値で販売することは難しい時代となりました。このような状況を踏まえ、平成22年1月21、22日に(社)日本花き生産協会カーネーション部会主催の技術研修会が行われ、国内生産者がこれから何をなすべきかについて、次の方針が示されました。

- ① 種苗費の軽減
- ② オリジナル品種の育種
- ③ 日持ち保証の定義とマニュアル化
- ④ 多彩な形質をもつカーネーションの生産
- ⑤ 生産販売におけるサポート体制の拡大(流通関係者、種苗会社、研究者、普及など)

輸入カーネーションに負けない選ばれる商品を作るために、国内生産者が結束し、協会主導でこれらの方針を実践していくこととなりました。千葉県でも他地域同様、生産費の増加や単価安が問題となつていきます。生産者に少しでも有益な情報を得てもらうため、千葉県花き園芸組合連合会カーネーション部会では毎年、種苗会社を招いた新品種検討会、栽培技術や流通の勉強会を開催しています。農林振興センターでも、生産者に役立つ病害虫防除技術や資材などの情報を提供し、活動支援を行っています。

(西廣明香)



養液土耕勉強会の様子

放牧地での  
センチピードグラスの利用

暖地性のシバであるセンチピードグラスは、「第3号安房普及だより」で紹介しました。現在、放牧地の牧草としても利用の取り組みが始まっています。

メリットとデメリット

センチピードグラスの九州地方における放牧の活用例では、「耐蹄傷性に優れる」「牛の嗜好性が良い」「夏場の生育が旺盛」「雑草の侵入を防ぐ」ことなどのメリットが報告されています。デメリットとしては、「種子の値段が高い」「初期の生育が他の雑草よりも劣る」などが挙げられます。

導入事例

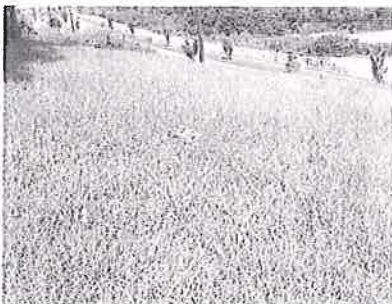
鳴川市で育成牛の放牧に取り組む酪農家がセンチピードグラスの苗を試験的に定植したところ、一年で雑草がほとんど侵入しないシバの草地になりました(写真参照)。千葉

県北部でも畦畔・法面へ導入した事例がありますが、完全に土を被覆するまでの期間は安房地域の方が早いようです。暖地性のシバということで温暖な安房地域に適していると考えられます。しかし、放牧地という広い面積へ導入するには、定植法では手間がかかり過ぎるなどの課題があります。

今後、省力的に導入が行なえるよう、引き続き検討を行なっていきます。

※蹄傷：牧草が牛に踏まれることによって障害を受けること。

(大河原澄香)



1年でセンチピードグラスに覆われた放牧地

安房地域の

若手農業者を紹介②

今回は、農業経営体育成セミナー※（以下セミナー）を今年3月に卒業した館山市正木の鈴木章嗣さん(28)をご紹介します。今年2月にセミナーで取り組んだ課題の成果を「県青年農業者会議」で安房地域代表として発表しました。そして、最優秀賞である県知事賞を受賞しました。

現在就農5年目になり、家族を含めて8名でセルリーを中心とした施設野菜と野菜苗の生産を行っています。両親の手伝いから始めた農業ですが、今は日々やりがいを感じ、作業に当たっているそうです。将来の目標として、「学生時代に学んだ知識を活かして、花苗にも挑戦し、両親のように的確に雇用管理ができるようになりたい。」と話をしてくれました。

仲間との交流も大切にして



鈴木章嗣さんと野菜苗



<http://blogs.yahoo.co.jp/minnaminavegi>

おり、セミナーで知り合った6名と「南房総ベジタブル」というグループを結成しています。メンバーと「品目を超えて協力し、市場出荷以外の販売方法にもチャレンジしよう。」と話をしているそうです。情報交換には、ブログを利用してメンバーが日替わりで活動状況を発信しているそうです。(左のURL参照)

セミナーは、農業に関する知識の習得や技術の向上に加えて、若手農業者の交流の場にもなっています。

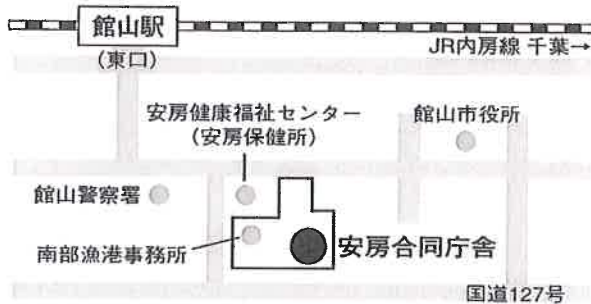
※農業経営体育成セミナーは、農林振興センター主催の概ね35歳までの若手農業者のための勉強会です。(山本大樹)

農業インターンシップ 研修生募集

将来就農を希望する高校生・大学生を対象に短期間、農家での実習を行います。農業に興味があるものの、ふれる機会が少ない方、実際の農業を体験できます。興味のある方は、担当(浅野)までご連絡ください。

Part2 安房地域いきいきフォーラムを開催

3月2日に171名の参加者を迎え、「千葉県農山漁村いきいきアドバイザー」の企画によるフォーラムを開催しました。講演は大里綜合管理株式会社の野老真理子社長から、社員の発案による一人一貢献企画が話され、できることから社会に貢献できる姿勢を学びました。また、3名の事例発表者からは、他産業や女性の視



安房農林振興センター 改良普及課案内図

点からの農業の楽しさが語られ、皆が大いに勇気づけられました。9名のアドバイザーは「安房の大地の豊かな恵みの情報をこれからも発信していく」ことを宣言しています。(川名瑞枝)

改良普及課は館山市役所通り沿いにある安房合同庁舎3Fにあります。